

メインテーマ：区民・産業がつくる 世田谷の新たな価値と豊かさ

策定の趣旨

世界経済は、グローバル化が進展するとともに、第4次産業革命といわれる新たな産業技術の活用により様々な産業構造の変革が起きています。わが国も、世界的な産業構造の変革の影響を受けて、今後、人々の生活や産業構造等が劇的に変わる可能性が指摘されています。

このように社会全体が大きく変化することが想定される中で、区内においても新たな産業分野の開拓と成長を推進していくことは、今後10年にわたる区内産業の充実・発展を実現するためには必要不可欠な要素です。

また、社会的には少子高齢化が進んでいるといわれている中で、世田谷区は高齢者と子どもがともに増加しており、それに伴い区民の必要とする産業の態様も変わってきています。

すなわち、商業・工業・農業といった枠組みにとらわれるのではなく、福祉、環境、建設など様々な産業分野を横断的にとらえて、区民生活を支えることが重要となります。

以上のような区及び区内産業を取り巻く社会経済環境の変化を的確にとらえ、新たな時代のトレンドやニーズに対応していくことを目的として、2018年度(平成30年度)から10年間を見通した世田谷区産業ビジョンとビジョン実現のための方針や施策等を策定します。

策定に向けての要因

現産業ビジョンの振り返り  
現産業ビジョンの総括と「10年後の世田谷の姿」についての確認

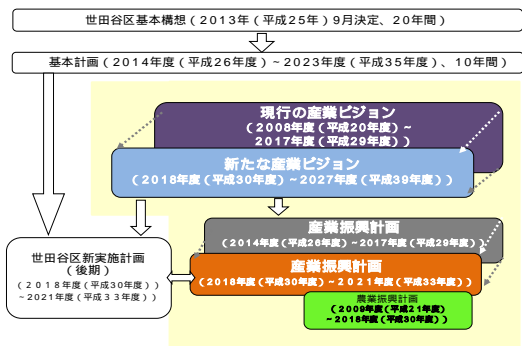
社会環境の変化  
近年における社会環境全体の変化

10年後の見通し

位置付け

ビジョンは、「世田谷区基本構想」(平成2013年(平成25年)9月決定、20年間)、「世田谷区基本計画」(2014年度(平成26年度)から10年間)を踏まえ、「世田谷区新実施計画(後期)」や「世田谷区農業振興計画」など関連する諸計画との整合を図りながら、2018年度(平成30年度)からの区内産業のあり方とあるべき方向性について、長期的視点からの戦略的な取り組みを示す産業政策の指針となります。

また、世田谷区産業振興基本条例第3条の産業の振興を総合的に実施するための指針の役割も担います。



7つのありたい姿と世田谷区産業ビジョンの全体イメージ

社会環境の変化や「世田谷区産業ビジョン懇話会」の提言等を踏まえ、新たな産業ビジョンの方向性を「7つのありたい姿」としてまとめました。ありたい姿を中心として、今後10年間を見据え、世田谷の産業政策を展開していきます。



施策の体系

下記の18の施策により、産業ビジョンを実行していくとともに、4年間の具体的な事業計画を体系化した「世田谷区産業振興計画」を策定します。

大分類(課題軸)	中分類(テーマ軸)				
	商業・サービス	ものづくり・建設	農業・農地	まちなか観光	消費生活
1 世田谷産業の基盤づくり	①産業創造基盤				
2 世田谷人材の育成と活躍	②雇用・労働環境の充実 ③世田谷人材の育成と活躍促進				
3 豊か・安心・快適な区民生活創造	④区民生活や地域環境を支え高める商店街振興	⑤地域や生活に身近なものづくりの産業	⑥区民とともにつくる世田谷農業	⑦区民が見つめ楽しむ世田谷観光	⑧安全・安心な消費環境づくり
4 活力ある産業の育成と創造	⑨世田谷生活に活力を与える生活関連産業の育成	⑩ものづくり技術を活かした産業の推進	⑪世田谷の特性を活かした農業力の強化	⑫まちなか観光が生み出す産業の活性化	⑬事業者と消費者がつくる豊かな消費生活
5 人と事業所とまちが創る成熟都市せたがや	⑭潤いと活力に満ちた地域づくり	⑮建設産業などが支える家・まち・都市の充実・発展	⑯農のある都市環境の維持・形成	⑰世田谷観光プロモーションの強化	⑱消費者市民社会の実現

せたがや価値創造プロジェクト

産業ビジョンに表した7つのありたい姿の実現に向けて、施策及び組織横断的観点で、各関係団体・機関などと連携して、せたがや全体に価値創造をもたらす先導的かつ総合的な5つのプロジェクトを設定し、取り組んでいきます。

【プロジェクト1】 地域と共に生活価値の創造を促す機能づくり 該当施策 、 、 、 、	【プロジェクト2】 コンパクトで多様な都市型ライフスタイルを支える産業の育成 該当施策 、 、 、 、	【プロジェクト3】 3(×2)×1型農業の推進と多面性の強化 該当施策 、 、 、 、
【プロジェクト4】 せたがや産業創造プラットフォームの設置とネットワークの形成 該当施策 、 、 、 、	【プロジェクト5】 世田谷人材マッチングの仕組み 該当施策 、 、 、	